

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	環境学習講座実施・支援事業	所管	環境クリーン部 環境総務課
			TEL 2998-9133

事業の目的 (何の為に 行うか)	次世代の子供たちに、温暖化による環境の変化、限りある資源の有効活用等、環境保全の重要性について、自らできることを考えてもらう。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	小・中学生	対象とした数	25,853	人
		実際に 利用した数	5,753	人

活動の内容	(何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習出前講座メニューを小・中学生向けに設定。</li> <li>・環境学習に役立つ資料として「わたしたちの環境」の内容を毎年見直し充実。</li> <li>・様々な主体が実施している環境学習プログラムやテキスト等をまとめ、環境学習支援メニューとして市内の小・中学校へ提供。</li> </ul>								
	活動実績	項目名	環境学習出前講座	2510	項目名	環境学習支援メニュー	251	項目名		単位
			単位	人		単位	個			単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,570	2,155	11,079	32.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	出前講座の満足度	環境を守るために勉強したり行動しようと思った人の割合	70	80.6	115.1
			単位	%	単位
			%	%	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 * 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 * 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	050100	TEL	2998-9133
事業コード	環境学習講座実施・支援事業					
050104						
開始年度		平成 15 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	環境基本計画、所沢市地域省エネルギービジョン			所沢市環境基本条例				
	関連・類似事業	温暖化対策啓発事業、キッズISOプログラム推進事業							
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	1節 環境との共生	中柱	3 環境施策への参加と協働の推進	小柱	(1)環境教育・環境学習の推進
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 17 位			・実施計画における位置づけ… H19 A H20 A				
事業開始の背景	平成14年度に総合的な学習の時間が始まり、各学校から様々な問い合わせや要望等を受けたことから、適切な環境学習メニューの検討が必要になったため。								

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)	次世代の子供たちに、温暖化による環境の変化、限りある資源の有効活用等、環境保全の重要性について、自らできることを考えてもらう。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方 環境学習出前講座受講者数＋冊子「わたしたちの環境」配布数								
	対象数	単位	平成 18 年度	25,968	人	利用数	単位	平成 18 年度	5,850	人
			平成 19 年度	25,853	人			平成 19 年度	5,753	人
	事業の具体的な内容及び実施方法 ・環境学習出前講座メニューを小・中学生向けに設定。 ・環境学習に役立つ資料として「わたしたちの環境」の内容を毎年見直し充実。 ・様々な主体が実施している環境学習プログラムやテキスト等をまとめ、環境学習支援メニューとして市内の小・中学校へ提供。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	◀ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ▶				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点 ・受講者アンケートや教師の意見を取り入れるなどして、より分かりやすい講座内容に心がけた。 ・冊子「わたしたちの環境」をわかりやすい内容とするため、紙面構成や内容を改善・充実した。						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		1,954	1,570	1,379
	決算 (見込み含む)		1,505	2,155	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 ) ( 人 ) ( 人 )			
	正規職員人件費	0.83 人	7,636	0.95 人	8,924
	公債費				
	事業費合計		9,141	11,079	
	財源内訳	一般財源	9,141	9,855	1,379
		国・県支出金		740	
		受益者負担金			484
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		27.1	32.7	
	利用数一単位あたり(単位:円)		1,562.6	1,925.8	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	環境学習出前講座	受講者数	人	2858	2510	2600	
		環境学習支援メニュー	項目数	個	246	251	250	
	成果分析	出前講座の満足度	環境を守るために勉強したり行動しようと思った人の割合	目標値	70	70	75	
実績				80.6	80.6		実績値の拡大を図る1	
達成率				115.1	115.1		実績値の縮小を図る2 1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	・学習支援メニューは、よりわかりやすくするため、その都度内容を改善・充実を図る。 ・受講対象者及び学習内容について事前準備が必要のため、受講者側担当者との調整が必要。 ・講座の集中する月があるため、課内の調整や外部講師派遣要請も検討が必要。				
目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	・環境学習出前講座受講者数＋冊子「わたしたちの環境」配布数	・小・中学校においては、対象に対し、例年22%前後の実施率のため、25%程度とする。	H21年3月		
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	・小・中学校については、総合学習や支援メニューが多数用意されているためニーズが高い。 ・学校によって積極的に環境教育を取り上げているが、全体的な底上げを図るため必要がある。 ・地域住民の関心が高まっており、住民との協働という観点からも情報提供が求められている。				
評価日	平成20年 5月 1日	記入者職氏名	環境総務課 主幹 高橋 佳雄		

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位… 12 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	優先度評価	<input checked="" type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業		
評価理由	小中学生を主な対象とする啓発事業である「こどもエコクラブ普及啓発事業」「キッズISOプログラム推進事業」について、本事業と一体的に取り組みを進めたいとの所管課の考えを尊重し、総合評価は「統合」とした。今後は各ツールの特性やそれによる効果に合わせて、環境負荷の低減等を成果としてとらえて取り組まれるよう検討されたい。					
評価日	9月1日 予算については、統合する2事業の一次評価も「現状どおり」となっており、3事業あわせて「現状どおり」とするが、事業の効率性を検討しながら事業を進められたい。					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	412
	施策の体系	4-1環境教育・環境学習の推進	施策の方向	4-1-2学習の場や機会の提供
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				